

城北小 PTA 通学路点検の流れ ～R3.9.10・11.5 実施～

①通学路で危険と感じる場所を「地域委員」に撮影してもらい、LINE を使って写真データを収集

- ・ R3.6.28 千葉県八街（やちまた）市 児童 5 人死傷事故
- ・ 6.30 6 地域委員長と点検実施を決める
- ・ 7.20 まとめたものを学校へ持ち寄り今後について協議

②写真をエクセルデータで整理・ナンバリング。地図(ゼンリンデータ地図)に落としこみ

③要望書を作成

④学校長をはじめ地域団体長から署名を頂く

小・中 PTA 会長、城北 2・3・4 町内自治会長、校区防犯協会・交通安全協会会長、小・中学校長

⑤行政関係団体へ提出

→R3.8.27 北部土木センター

※熊本北合志警察署には提出せず。（北部土木センターさんとの協議で、警察も参集することになると分かったため）市教委等本庁の部署を動かしたほうが、話が早いとのアドバイスあり。

◎市教育委員会には、学校を通じて事前に報告・提出済み

◎自治会との連名による要望書としたことで、後日に実施した点検の際に細やかな協議ができたと感じている

⑥点検の実施

R3.9.10 市教委、土木センター、北合志警察署、自治会長、防犯協会・交通安全協会会長、（小）教頭

※熊電沿いの道については、自転車対策室へ要望を出し、後日（11.5）現地確認を行った

★点検の 2 か月後、危険個所として指摘した横断歩道にて自転車の飛び出し（中学生）事故発生

→ハード面の改善だけでなく、歩行者・保護者側の意識改革を促す必要もある

⑦保護者へ報告(安心安全メールによる)

点検の様子や、今後の見通しについて

⑧各行政関係団体において、随時改善。

完：交通標識の新たな設置、横断旗の試験的運用、ドットラインの施工

未：歩道の破線表示、横断歩道の明示方法の見直し、信号機付近の安全確保、自転車レーンの改善

⑨改善が図られた箇所を随時保護者へお知らせ(安全安心メールによる)

⑧の進捗を報告

【児童・生徒数 300 名以下】

- 山東小 ・ えーとこ報徳祭り（コロナ禍で開催できなかったが、復活させる予定）
・ 学習発表会（地域の方の観覧可にする）
・ 校則検討委員会、どんどやの実施、R5 年度に防災キャンプを計画中（役所へ事業計画を申請し、予算の確保）
- 弓削小 ・ コロナ禍で 2～3 年の活動が難しかった
・ 自治会と協力して、どんどや・夏祭り・みこし担ぎを行った（2 年間は休止していたが）
・ プールの修理に時間がかかった
・ 自治会主体のイベントに P T A が入る
- 菱形小 ・ 単年で会長は交代する
・ 地域のつながりが強い
・ 行事を大きく変えることはない
・ 毎年役員が変わるため、引継ぎが大切
・ 学校行事に準じて活動を行っている
・ 日本一の「カタルパの木」があり、樹木医による蘇生プロジェクトを実施中
・ 毎月第一月曜日は「あいさつ運動」
・ 年 3 回の愛校作業には 50～60 人が参加している

【 // 300 名～500 名以下】

- 植木小 ・ 1 年で役員は交代するため、役員の負担を減らすために縦割りの委員会方式をとっている
・ パトロール・白線引きの要望、交通安全教室などの活動を、コロナ禍でもできる方法に変えて行った
- 麻生田小 ・ 委員会を減らし、従前の委員会活動を再開した
・ 学校と連携して「読み聞かせ」活動に力を入れている
・ 地域・中学校区の小中 P T A 協働で、夜間パトロール（毎月第 3 水曜日）を行っている
- 武蔵小 ・ P T A ってなんだろう？ A 3 用紙で Q & A 方式で説明している
・ 総会の開催方法について、アンケートを実施したが、対面開催を希望した会員は 1 名のみであとはオンライン（書面）を希望という結果だった
・ 会則に地域組織も含めた P T A の位置付けが分かる組織図を入れ、関わり方の見せ方を工夫
・ 総会資料をロイロノートに入れてもらい、保護者のタブレット利用を推進
・ 委員会をなくし、これまで開催していたイベントの中から「親の学びの場」となるイベントを残し活動を行っていく
・ やらなくてはならない事（活動）は残し、来たい人が参加するスタイルに変更
- 城北小 ・ パトロール：昼（毎週水曜日）・夜（毎月第 3 水曜日）のパトロール日を設け、都合の良い日にちでパトロール活動をしたい会員を募り、実施している
・ 活動をすることにこだわらず、したいこと・やらなければならないことに取り組むようにしている
- 龍田小 ・ 委員会を学年割としている。一役決めという概念をなくした
・ 旗振り活動：全世帯に旗を貸出。当番日を振り分け、立つ位置は学校 HP で確認できるようにしている
・ まちづくりセンターが、地域の悩み事を受け付けてくれる
・ 自治会等と連携して行うパトロール等で、危険・気になることがあった場合は、メールで報告するようにしている（P T A 専用のメールアドレスを開設）

- ・学年活動は6年生を除いて行っていない
- ・ZOOMによる総会の開催や、新入生世帯に向けたPTA説明動画を作成し、学校のHPにアップしている。
- ・青少協との協働で、模型作り大会を行い、大変盛り上がった（熱中）
- ・「こどもひなんの家」「スクールガード」の方へ、児童からのお礼の手紙と小ごみ袋をお渡ししているが、とても喜ばれている

- 桜井小
- ・コロナ禍で、活動の見直しを検討したが、活動をしなくても協力が得られる地域性もあり、運営方法の見直しをする必要性は低い
 - ・通学路点検など、地域の方がとても協力的で、学校へ連絡をしてくれる

【 // 501名以上・中学校】

楡木小・高平台小・北部東小・植木北中・武蔵中・清水中

- ・夏祭り：食バザー（春・秋2回開催）
- ・高平盆踊り：授業の一環として地域バザーを行っている
- ・制服バザー（売価50円・100円）で得た収益は、学校に渡している
- ・消防・警察など体験型の活動
- ・ぞうきんを子どもに作って売る
- ・防犯灯の設置
- ・避難所運営委員会は高平にない
- ・子ども達に聞いて、備品（ノート等）を購入し配布。会費を物にして子どもへ還元している
- ・資源物回収を授業の一環として取り組んでおり、年2回実施している
- ・入会率94%だが、未加入世帯の子どもに物を渡すことについて意見
- ・卒業生コサージュの扱いについて
- ・PTAの価値とは